

## ひとりひとり違って生まれる・・・ひとりひとり違っていい



### <生徒の感想>

☆菊池先生、今日は楽しい授業をしてくださり、ありがとうございました。私は先生のおかげで発言するのが、とても楽しかったです。また、サポートをしてくださったのおかげで、より楽しく発言できました。ありがとうございました。他に、いつも話さない人と話せたのでとてもうれしかったです。また、菊池先生の授業を受けたいと心の底から思っています。(1年3組 増田清花さん)

☆「みんなちがってみんないい」という言葉は、人それぞれの個性がとても大切だということに気づかされた。私は夢は実現させるためにあるのだと思う。でも他の人の、夢を追い続けるだけでも人生は楽しいという意見を聞いて、確かにと思った。さらに大人になっても夢を持ち続ける人間でありたいと思った。他の人の意見を受け入れて自分の考えを広げていくことも大切だと思った。みんなちがってみんないいんだなと思った。(1年3組 秋山陽彩さん)

☆コミュニケーションの大切さがよくわかりました。守ってもらったからといって幸せにはなれない。守られてばかりいても自立できない。相手の意見も聞けないと、誰も幸せになれない。幸せになるためにはコミュニケーションは大切ですね。これから先、高校生になっても、大人になっても、人間関係でうまくやっていくには、コミュニケーションはかせないと思いました。4コマのようにならないためにも、自分が伝えたいことが言える、相手の意見を聞くことを大切にして、これからも生きていこうと思いました。(2年2組 澤田美優さん)

☆今日の授業で一番印象に残っているのは「失敗を恐れないこと」です。これは私が意見を発表したときに気がきました。私たちのクラスは誰一人/カにするような笑い声だったり、「おかしい」などの発言はしない、とてもよいクラスだと授業を通してわかりました。今日は相手の気持ちやその場の空気など様々なことを理解し、さらに伝え合うという、これからの将来に役立つ、素晴らしいことを学ぶことができました。(2年2組 早川未来さん)

☆私たちは18歳で成人します。あと4年もありません。そのときに大人と思ってもらえるような18歳になりたいと今日の授業を通して、そう思いました。周りの空気が読める人、子どもたちを悲しませない人、かっこいいと思ってもらえる人、それができてこそ、大人なんだなとつくづく実感することができました。(3年3組 中村夢吹さん)

☆菊池先生の授業で印象的だった言葉は「ひとりひとりちがっていい」です。菊池先生のこの言葉で心が楽になりました。クラスの人と意見交換をしあうとき、男女が輪になれるように考えてくださる姿がとても印象的でした。大人になるためにどうすればよいかを考えるよい機会となりました。菊池先生のひとつひとつの言葉の重みを理解し、大人に近づけるように頑張ります。(3年3組 松沼真由さん)

5月26日(木)に菊池省三先生を招き、1年3組、2年2組、3年3組で道徳の師範授業をしていただきました。本校の教職員だけでなく、甲斐市内の小中学校の先生方にも声をかけ、その示範授業を参観させていただきました。全国で“ひっぱりだこ”の菊池先生の授業を、「世界で一番受けたい授業」を受けることのできる幸運！3つのクラスの生徒は、菊池先生の温かくほめて認めてくれる言葉がけに、意欲的に、主体的に授業に取り組んでいました。放課後は先生方(市内の小中学校の先生方も一緒に)との研究会を行いました。ここでも私たち教職員に、たくさんの素晴らしい学びを提供してくださいました。「コミュニケーション力は命を救う」と菊池先生は話してくれました。情報ツールあふれる時代に生きる子どもたちに、自分に自信を持ち、互いに協力しながら「自分らしさ」を大切に、しなやかにたくましく歩いていく力を身に付けさせるためには、どうしていったらよいかを学ぶ貴重な機会となりました。私たち教職員のこれからの指導や授業へ活かしていきたいと思います。

### 【菊池省三先生紹介】

1959年愛媛県生まれ。全国ネット「菊池道場」主宰。元福岡県北九州市公立小学校教諭。小学校教師として「ほめ言葉のシャワー」「成長ノート」「白い黒板」などの教育実践。NHKのテレビ番組「Professional仕事の流儀」で「未来をつかむ、勝負の教室」に出演。さらに日本テレビ「世界一受けたい授業」にも出演。全国的に大きな反響を得る。文部科学省「熟議に基づく教育形成の在り方に関する懇談会」委員などを務め、小学校退職後は新時代の教育を目指し執筆、講演活動中です！昨年度に引き続き、来校いただきました。今回も素晴らしい学びの時間を与えてくださいました。感謝しかありません。

## ふるさと学習～山梨を知る、仲間の良さを再発見する～

5月27日(金)2年生は、ふるさと学習に4コースにわかれ、出発をしていきました。当日朝はすごい雨でしたが、途中からは天気も回復し、計画どおり実施することができました。1年生後半から各自の学習テーマに基づき、事前学習を重ねてきました。ふるさとに対する愛着や誇りを醸成するためには、地域の歴史・自然・文化などを学び、実踏すること、そうすることによりふるさと山梨への理解を深めていくことができます。ふるさとを知ることは自分を知ること、そして仲間の良さを再発見することにつながります。県内4コースにわかれ、学習をしてきました。

### <Aコース 甲府地区 2年2組 萩原涼さん>

国宝や重要文化財などの貴重な品を見ることができた。特に武田神社の宝物館の刀や火縄銃が印象に残った。

### <Bコース 北杜地区 2年3組 山谷楓真さん>

このふるさと学習でたくさんのことを学びました。オオムラサキセンターではオオムラサキの一生や自然の厳しさを、三分の一湧水ではその役割を知り、実際に湧水に触れることができました。とても冷たかったです。

### <Cコース 峡東地区 2年1組 太田和花さん>

大善寺と恵林寺宝物館ではガイドさんの話と自分の目で見て、歴史を知ることができました。今回のことを活かし来年の修学旅行でも見るだけでなく、聴くことも大切にしていきたいです。

### <Dコース 富士北麓地区 2年2組 田中なおさん>

富士山の歴史や世界遺産、湧水や魚について学びました。富士山科学研究所では溶岩や樹型が残る森をまわり、すごく楽しかったです。このふるさと学習で学んだことを今後の生活に活かしていきたいです。

